

-Monthly News Letter-



BEIJING

TOKYO

SHANGHAI

DELHI

GUANGZHOU

BANGKOK

HO CHI MINH

SINGAPORE

What's on **today?**

- July 2011 No.22-

TOKYO

BEIJING

SHANGHAI

GHUANGZHOU

BANGKOK

HO CHI MINH

SINGAPORE

DELHI

What's on today?

-Monthly News Letter-

- July 2011 No.22-

タイ最大級！制作会社が自社展示会を国際展示場規模で開催

★Workpoint Festival★

2011年7月8-10日 11:00-22:00 INPACT Charenger2 にて

タイでのエンターテイメント・メディア製作会社大手ワークポイントが業界関係者、一般消費者に向けた自社展示会を国際展示場規模でついに開催された。東南アジアの各制作会社に自社の製作ヒストリーや番組の版権などをセールする場とされまた一般消費者には自社制作のエンターテイメントショーコーナーや臨時のTV番組参加などといったエキサイティングでライブなショー展示会となりました。期間中は、約30,000人の来場で賑わったようです。また、オーナーのパンヤー氏は現在タイのTV番組のレギュラー司会と番組制作を15本も手がけており多忙を極めている中で会場内でのダイレクトコミュニケーションも欠かさないサービスぶりでした。



Commart Thailand X-Gen 2011

21-24 July 2011 シリキット・コンベンションセンターにて



IT関連プロダクトの展示会もタイ・バンコクでは非常に多く上げられます。しかも展示即売会！日本のような総合電化センターのようなものがないからか？海外企業の生産拠点としては、十分にローカライズされているはずが、マーケットにとっては、いつも新鮮？携帯電話を始め新しい物好きのタイ人のニーズであろう。

衝撃的で大きな問題となった
2011年7月タイ王国下院総選挙 ポスターの一部

なんと獣のような議員には投票するな！というメッセージ議会は動物禁止！選挙へはいかないよう！こんなポスターが街中にあふれました。もちろん取り外し騒ぎから社会問題となった事件でした。しかしこんな表現！社会に出てしまうんですね。



バンコク～スクムビット通り 新商業施設設計画 2014年に全てが揃う！

臨時増刊号

第一弾！10月アソークが変わる！



バンコクの駅前、とりわけBTS駅前では駅直結のショッピングモールの建設ラッシュが起きている。今年10月のアソーク駅前の「ターミナル21」を皮切りに、11月にはMRTラマ9世駅前の「セントラルプラザ」、そして来年3月にはエカマイ駅前に「ゲートウェイ・エカマイ」がオープン。その後もブルンジット駅前に「パークベンチャーズ」、「セントラル・エンパシー」、プロンポン駅前に「エンポリアムII」が開業を予定している。ホテル併設の高級ショッピングモールから、タイの中流家庭が気軽にに行ける庶民的なショッピングモールまでがあり、うまく棲み分けがなされそうだ。オープン間近なショッピングモールを紹介する。

オープン予定	直結駅など	ショッピングモール名
10月	BTSアソーク	ターミナル21
11月	MTRラマ9世	セントラルプラザ
2012年3月	BTSエカマイ	ゲート・ウェイ・エカマイ
2012年3月	BTSブルンジット	パークベンチャーズ
2013年	BTSブルーンジット	セントラル・エンパシー
2014年	BTSプロンポン	エンポリアムII
2014年	BTSトンロー	オリガミ



What's on today?

-Monthly News Letter-

- July 2011 No.22-

インドで自動車ラッシュ！



今、インドの自動車市場が熱い。海外自動車が相次いでインド国内での事業展開を進めている。

6月下旬、トヨタはインド市場で展開していた『エティオス』のハッチバックタイプである『エティオス・リーバ』の販売を開始した。このタイプの車種は、大勢で乗り込み、多くの荷物を積むというインド人の需要に応えた形である。

トヨタ自動車のインド向け小型車「エティオスリーバ」

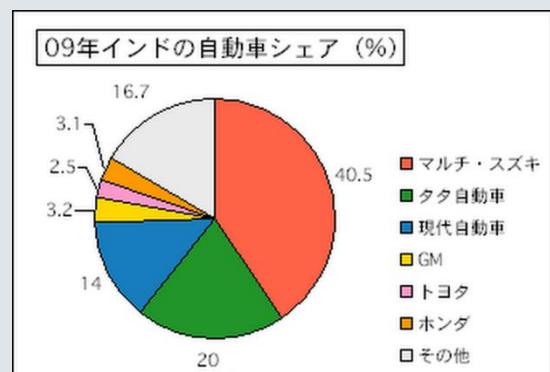
7月中旬、ホンダ・モーター・サイクル・アンド・スクーターズ・インディア(HMSI)は、本年度の目標販売台数を210万台と掲げた。また同社は今月15日に『CBR250R』14万7千ルピー、『C-ABS』17万3千ルピーの2車種を発表した。

また、ドイツメーカーのメルセデス・ベンツも2011年中にインドのリース市場に参入することを発表した。

インドでの自動車成功例としては、インド政府と日本の自動車メーカーであるスズキの合弁会社「マルチ・スズキ」が挙げられる。現在、同社のインド国内シェアは5割に至ろうとしている。しかしそれを阻むのは、シェア2位の国内メーカー「タタ自動車」と、3位の韓国メーカー「現代(ヒュンダイ)自動車」である。

図は週刊東洋経済のデータを引用したグラフである。

このデータが本当なのか、試しに弊社オフィスの前に駐車された自動車を調べてみた。スズキ車が7台、ヒュンダイ車が4台、ホンダ車が3台、タタ車が2台、トヨタ車が2台、その他のメーカーが2台であった。ホワイトカラー層には、海外メーカーの自動車が売れているようである。町を歩いてみてもトラックやバス等の大型車両ではタタが目立つが、乗用車ではスズキやヒュンダイが圧倒的に多い。



■道路事情

とはいえるインドの交通マナーは悪い。行く先に入る隙間あれば、車もバイクも我先にとクラクションを鳴らして割り込む。待ったり譲ったりという概念は無い。歩道でもバイクやオート・リキシャがオラオラと進入してくる。彼らにとって歩道を抜け道なのだ。狭い道に路上駐車もするし、それでいてその間を自動車が通ろうとする。自動車同士が軽く衝突したり、擦れ合ったりするのは日常茶飯事。せっかくの新車も傷だらけだ。

インドはインフラ整備の面で多くの問題を抱えているが、それは道路についても同じだ。道路には陥没や穴が目立ち、マンホールが決壊して下水が湧き出している所もある。道路整備の遅れと運転マナーの悪さが相まって、インドでの自動車市場は伸び悩んでいるとされている。

■エコカー対策

日本ではトヨタの『プリウス』をはじめとして、多くのエコカーやハイブリッドカーが走っている。インドは自動車市場が加熱しながらも、まだまだエコカー技術は遅れをとっているようだ。

市街地では排気ガスによる汚染が問題となっている。バイクに乗る人は布で口を覆い、フルフェイスヘルメットを被って排気の吸引を防ぐ。自動車も多くは窓を閉める。

そもそもインドにはエコという観念を持つ人が少ないように思える。路上へのポイ捨ては当たり前のように行われる。また、平均所得が乗用車を買えるほどに豊かではないので、さらに高額なエコカーへの需要も現在は少ないと考えられる。

■燃油相場の高騰

インドのガソリン価格も決して安くはない。街には比較的燃費の良い軽自動車やディーゼル車が多く走るが、燃油相場はのきなみ上昇気味にある。デリーではガソリンはリッターあたり63.37ルピー(約127円)、軽油は41.29ルピー(約82円)である。日本の金銭感覚で言えば安いほうだが、デリーではミネラルウォーター1Lが15ルピー(約30円)、コーラ500mlが20ルピー(約40円)なので、いかに国民にとって燃油が高価であるかがうかがえる。



ニューデリーの道路

■インド自動車市場の未来

めざましく発展するインド。いずれ平均所得が上がれば、多くの人が自動車を所有することになるだろう。インドの人口分布はピラミッド型であり、今後多くの若者が自動車を購入することになるだろう。海外自動車メーカーが相次いでインド市場に参入するのは、そうした未来を見込んでのことだ。

だからこそ今、交通整備の改善が求められている。いずれ自動車の所有台数が増加すれば、インド各地の市街地は慢性的な交通渋滞に陥ることだろう。そしてマナーの悪さによる交通事故や騒音問題も比例して増えていくに違いない。

**今後インドで平均所得が上昇し、公衆衛生が改善されるならば、エコカー市場の拡大もそう遠い未来ではないだろう。
今後もインドのカービジネスから目が離せない！**

DELHI

DELHI Saptam Film Prodtions India
(Saptam International)
Phone +91-11-32532503 Fax:+91-11-28741116

BANGKOK



T-LIVE BANGKOK Co.,Ltd
Phone +66-(0)2-716-8501 Fax +66-(0)2-716-8502

SINGAPORE



CONCEPT 360° PTE LTD
Phone +65-6887-5595 Fax +65-6887-5991

TOKYO



T-LIVE Co.,Ltd
Phone +81-3-3537-0234 Fax +81-3-3537-0236



SP-RING Co.,Ltd
Phone +81-3-5543-2215 Fax +81-3-5543-2216

BEIJING



SP-LIVE International BEIJING Co.,Ltd
Phone +86-10-6409-7531 Fax +86-10-6409-7503

SHANGHAI

SP-LIVE International SHANGHAI Co.,Ltd
Phone +86-21-6472-5140 Fax +86-21-6472-5170

GUANGZHOU

SP-LIVE International GUANGZHOU Co.,Ltd

HO CHI MINH



AAB INC.
Phone +84 838 181 391 Fax +84 838 181 392